

企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

市立札幌病院、地下鉄、水道、下水道では収益的収支が黒字になりましたが、中央卸売市場と路面電車では赤字になりました。



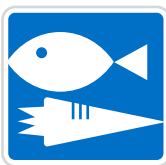
市立札幌病院

主な実施内容
血管造影X線診断装置やナースコール設備の更新

◎収益的収支の状況

収入 227億円
支出 221億円
→ 差し引き 6億円
赤字の累計額174億円

◎資金の状況 50億円の資金残



中央卸売市場

主な実施内容
水産棟に荷物を搬入する出入口のシャッターなどを新設

◎収益的収支の状況

収入 18億円
支出 24億円
→ 差し引き -6億円
赤字の累計額53億円

◎資金の状況 14億円の資金残



路面電車

主な実施内容
車両の改修や架線修理車の更新

◎収益的収支の状況

収入 13億円
支出 13億円
→ 差し引き -1億円
赤字の累計額4千万円

◎資金の状況 5億円の資金残



地下鉄

主な実施内容
南北線5000形車両の更新やワンマン化改良

◎収益的収支の状況

収入 470億円
支出 425億円
→ 差し引き 45億円
赤字の累計額3,306億円

◎資金の状況 8億円の資金不足



水道

主な実施内容
施設の耐震化、浄水場などの保安強化

◎収益的収支の状況

収入 426億円
支出 376億円
→ 差し引き 50億円

◎資金の状況 63億円の資金残 ※

※水道施設更新積立金20億円を含む



下水道

主な実施内容
西部スラッジセンターの設備増設、老朽化した施設の改築

◎収益的収支の状況

収入 416億円
支出 410億円
→ 差し引き 5億円
赤字の累計額273億円

◎資金の状況 60億円の資金残

【用語の説明】

・収益的収支 企業の経営成績を示す収支

・資金 年度末に残っている現金などのこと

資産

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金など

●現在高2,609億円

財政調整基金112億円など22基金

財産

- 公有財産土地／5,369万㎡
建物／延べ面積562万㎡ 有価証券／16億円
出資による権利／160億円
- 物品（100万円以上のもの）3,849点（台）
- 債権（民間への貸付金など）54億円

札幌の財政状況を詳しく見てみよう！

札幌の財政は健全？

自治体の財政状況が良好かどうかを示す指標として健全化判断比率があります。札幌市は前年度に引き続き、財政再建に取り組まなければならない水準を大幅に下回っています。

健全化判断比率

平成22年度決算

指標	内容	札幌市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%	35%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	10.6%	25%	35%
将来負担比率	将来負担を見込まれる負債の割合	115.1%	400%	

財政再建が必要かどうかの基準

良好な比率を維持

次のページへ